

## 児童生徒の国語力向上とメディア活用能力の育成

大分県教育委員会教育長 小矢 文則

このたび、別府大学が独立行政法人教員研修センターからの委嘱を受け、「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」（児童・生徒の国語力を高め、メディア活用能力を育成する指導力向上のための教員研修モデルカリキュラム開発プログラム）を実施してこられ、その取組内容をもとに「調べ学習」支援・指導のてびきとしてまとめられましたことを心からお祝い申し上げます。

また、別府大学が長年にわたる様々な実践や研究を通して、司書教諭の講習会や図書館教育の発展等に多大な貢献をされておりますことに、深く敬意を表します。

さて、我が国の国際化、情報化に伴い、ICT 革命の必要性が提唱されると同時に、パソコンや携帯電話等の普及により、子どもたちの文字を書く機会が少なくなったり、わからないことを文献を通して調べようという意欲が減退傾向にあったりするなど、国語力の向上と ICT 教育の重要性が現代的な教育課題として指摘されております。

そもそも、児童生徒に身に付けさせたい国語力とは、言葉を通してものごとを思慮深く理解したり表現したりする力であり、すべての教科や学習活動の基礎・基本となることから、学力向上はもとより、コミュニケーション能力や感性・情緒をはぐくむために必要なものであると認識しております。

そのため、県教育委員会では、平成17年度から国語力向上モデル事業を展開する中で、モデル校において、国語科のみならず、すべての教科で「話す・聞く」「書く」「読む」などの「伝え合う」言語活動の充実に努めてきました。

さらに、県内の児童生徒の国語力を向上させるため、学識経験者や推進校関係者等からなる国語教育推進協議会において、「大分県国語力向上プラン」を策定したところです。

本年4月当初には、このプランを県内小・中学校すべての教職員に配布し、各学校での活用を図ることにより、国語力の向上に向け全県的に取り組むことにしています。

このような折に、「調べ学習」支援・指導のてびきが発刊され、併せて教員研修モデルカリキュラム開発プログラムの実施状況とその成果を盛り込んだ DVD とともに、県内すべての小・中学校に配布できますことは誠に意義深いことであり、今後各学校における調べ学習や ICT 教育の指導に大いに役立つものと期待しております。

おわりに、本実践研究とプログラムの開発にご尽力いただきました関係者の皆様に心から敬意を表しますとともに、別府大学の益々のご発展を祈念いたします。